



Anniversary

TopEye フォトコンテスト 2019

2019年度 作品募集開始

👑 第1回締切 5月23日 (当日必着)

👑 第2回締切 9月13日 (当日必着)

👑 第3回締切 11月8日 (当日必着)

👑 第4回締切 1月10日 (当日必着)

今年は、フォトコンテストを目標に！



今年度は
このお二人が
審査員！

藤岡 亜弥 先生 熊切 大輔 先生



第26回 先生だけの TopEyeフォトコンテスト

新学期！

「ありがとう写真」から一歩踏み出す誌上写真教室
TopEye フォトスクール

ガンバレ写真部！
ふんわり+まっすぐ=ノリノリだ！
沖縄県立知念高等学校

TopEye
フォトコンテストは
全員応募して
いませーす！

TopEyeOB/OG 訪問
羽鳥 優妃 さん
(新潟県立六日町高等学校OG)



「TopEyeフォトコンテスト」受賞作品
(佳作以上)の鑑賞や誌面のダウンロード
ができます。ぜひご覧ください！

ニコトップアイ



今年は「TopEyeフォトコンテスト」を目標にしませんか!

「TopEyeフォトコンテスト」は、学校の写真部を1つの「チーム」として部員それぞれの作品を出品する、中高生のためのフォトコンテストです。

いつも応募してくれている皆さんも、よろしくね!

プロ写真家が審査員

2人の写真家がキミの写真を審査し、上位入賞者には講評やアドバイスも。上達のヒントがつかめるよ!



全国の写真仲間にアピール

「TopEye」は全国の中学・高校に配布されるので、入賞したら同年代のたくさんの仲間が観てくれる。キミの写真が「全国デビュー」できるかも!?



TopEye フォトコンテスト



部全体の目標ができる

個人作品のコンテストだけど、1年間にわたる学校対抗のコンテストでもある。部の仲間と一緒に「年度賞」や「TopEye全国高校生写真サミット」出場を狙おう!

感性が磨かれる

発表を意識した作品づくりや応募を重ねると、自然に感性が育つ。また、多くの入賞作品を観ることでセンスが育ち、写真の世界も広がるよ!

チャンスは年に4回!

第1回(6月号発表)の応募締切は

5月23日(木) 必着

※当日消印有効ではありませんのでご注意ください。

プロ写真家が語る「コンテスト参加のススメ」



藤岡 亜弥 氏

TopEyeフォトコンテスト審査員

コンテストは、自分を知り世界を知る機会です

TopEyeフォトコンテストには毎回2,000以上の作品が集まります。皆さんの熱意に、こちらも勉強している気持ちで審査をしています。

写真が上手になる秘訣を聞かれることがありますが、「たくさん撮る」「人に観せる」「人の写真をたくさん観る」、この3つの繰り返しではないかと思えます。仲間と見せ合い、コンテストに挑戦することで、写真はもっと楽しくなります。

「いい写真」は人によって違いますし、審査員によっても選ぶ写真は違いますから、入賞することが一番大切だとも思いませんが、発表することで心を開き、自分を知り、世界を知る楽しさがコンテストにはあります。皆さんの写真を拝見するのを楽しみにしています!

※上の写真で先生がお持ちの本は、写真集「川はゆく」(2017年 赤々舎刊)です。



熊切 大輔 氏

TopEyeフォトコンテスト審査員

コンテストで新たな「出会い」を楽しもう

今月号より審査を担当いたします写真家の熊切大輔です。よろしくお願い致します。中学・高校生の皆さんのフレッシュな作品にこれからたくさん出会うことを楽しみにしています。

コンテストは様々なことが学べる場所です。同じような被写体を全く違う切り口で表現する人、思っても見なかった被写体を見つける人など、他の応募者の作品は情報と刺激の宝庫です。同じ場所に行っているのにどうして撮れなかったのか?そんな疑問の答えが、そこにはあるのではないのでしょうか。評価の高い作品を撮るのも楽しいですが、そんな新たな写真との出会いの場としてコンテストを楽しんでみてください。皆さんの力作を楽しみにしております。

※上の写真で先生がお持ちの本は、写真集「利根 東京で」(2018年 日本写真企画刊)です。

部員みんなで応募しよう!

TopEye フォトコンテスト

審査は年4回。毎回37作品が入賞

TopEye 賞
1作品
●賞状
●ニコンデジタル一眼レフカメラ
受賞ポイント **100**ポイント

準TopEye賞
1作品
●賞状
●ニコンコンパクトデジタルカメラ
受賞ポイント **70**ポイント

入選
5作品
●賞状
●ニコンオリジナルグッズ
受賞ポイント **50**ポイント

佳作
10作品
●賞状
●ダイレクト限定商品
受賞ポイント **30**ポイント

準佳作
20作品
●賞状
受賞ポイント **20**ポイント

学校別のポイント集計で全国大会出場&年度賞ゲット!

6月 獲得ポイント

10月 獲得ポイント

12月 獲得ポイント

2月 獲得ポイント

獲得ポイント 上位15校

獲得ポイント 上位3校

横浜で開催の全国大会

TopEye全国高校生写真サミット2020出場!



横浜の街を舞台に作品撮影&コンテスト!



プロ写真家による作品批評



全国の写真仲間と交流会



全国の写真仲間と交流会

1年に3校だけに与えられる名誉ある賞

TopEyeフォトコンテスト 年度賞 獲得!

受賞校には豪華賞品を進呈



- 賞状・楯
●D7500 18-140VR レンズキット
●エプソンプリンター
(プロセクション/Colorio V-edition/エコタンク搭載モデルから選択)
- 賞状・楯
●D5600 18-140VR レンズキット
●エプソンプリンター
(Colorio V-edition/エコタンク搭載モデルから選択)
- 賞状・楯
●D3500 18-55VR レンズキット (ブラック)

協力エプソン販売株式会社 ※賞品は変更になる場合があります。

すべての応募校に「写真サミット」出場のチャンスあり。今年も横浜を目指してみよう!

「TopEye全国高校生写真サミット」出場校 ポイント獲得例

	6月	+	10月	+	12月	→	合計
例1	佳作 30ポイント 準佳作×2 40ポイント		準佳作 20ポイント		佳作 30ポイント		120ポイント
例2	入賞なし		入選 50ポイント 準佳作 20ポイント		準佳作×2 40ポイント		110ポイント
例3	入選 50ポイント		準佳作 20ポイント		佳作 30ポイント		100ポイント

昨年のボーダーラインは100ポイント
上位入賞がなくても毎回の「審判」が大事!

「TopEye全国高校生写真サミット2019」 初出場でグランプリ受賞!!

関市立関商工高等学校の場合



ポイント獲得実績 6月 10月 12月

準佳作×2点 40ポイント + 準佳作 20ポイント + 準TopEye 70ポイント = 130ポイント

毎回少しずつポイントを重ね、
悲願の出場!

写真部部长 田口 紗希さん

昨年度最初のミーティングで「絶対TopEyeの写真サミットに出場する」と目標を立てました。部員全員が毎回ベストの作品5点を応募すると決め、撮影会や土日の撮影会も、出場を励みに頑張りました。毎回、部の誰かが準佳作以上に入賞してポイントを積み重ね、悲願の出場が決まりました。

出場にあたり、前もってルールに沿った撮影方法を考え、練習もしていききました。当日はなかなかアイデアが出なかったり、練習通りに撮れないなど苦戦しましたが、妥協せず粘り強く撮影を続け、納得できる作品に仕上げました。合間には中華街でお土産を買ったり、赤レンガ倉庫でスケートをしたりと、楽しい思い出もできました。今年度も後輩が出場できるよう、毎回全力で応募したいと思っています。

「TopEyeフォトコンテスト」応募待ってます!!

写真部なら
1人からでもOK!

同封の「応募用紙」をよく読んで応募してね!



応募用紙はコピーしたものでもOK。また、ニコイメージングのWEBサイトからダウンロードもできます。

www.nikon-image.com/activity/topeye/

ニコ トップアイ 検索



応募上のおもな注意

✓ スマホ写真は対象外

カメラ付き携帯電話などで撮影した写真は受け付けていません。



✓ 写真のサイズをよく確認しよう

キャピネ または 2L ~ 四つ切 または A4 サイズ

✓ 応募票は各写真の裏に貼り付ける。記入モレに注意!

TopEyeフォトコンテスト 応募票		写真番号	組写真
画面	春夏秋冬	4	なし
フリール名	二紺 遥子	性別	女
氏名	二紺 遥子	学年	3年
学校名	TopEye高等学校	学校住所	〒0000000 TEL 0000000000
サークル名	写真部	所属	写真部
カメラ名	ニコン D3500	フラッシュ	有
レンズ	AF-S DX18-55mm	フィルム	
露出データ	オート (1/8000) M (1/8000) S (1/8000) P (1/8000)	露出補正	0.3 EV
ISO感度	100	プリント	自宅 / 写真部・同好会

一眼レフやミラーレスカメラの場合は、レンズの焦点距離も忘れずに。

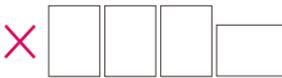
組写真の場合は並べる順番も書いてね。

露出データ・ISO感度は記入モレ多し。気をつけて!

✓ プリントは「フチ(余白)あり」設定で



✓ 組写真は4枚組まで



「縦位置組」か「横位置組」のどちらかに統一。



各写真のトリミングの比率を揃えよう。



写真はつなげて、応募票に並び順を明記。

注意

今年から応募締切は「当日必着」に。締切日も変更になります。

👑 第1回 5/23 必着 👑 第2回 9/13 必着
👑 第3回 11/8 必着 👑 第4回 1/10 必着

宛先

〒354-0045
埼玉県入間郡三芳町1141-10
「TopEyeフォトコンテスト」係

※TopEye編集部住所とは異なります。ご注意ください。

TopEye

先生だけの第26回 フォトコンテスト



審査員 藤岡亜弥 審査員 小林紀晴



賞品



・ニコンデジタル一眼レフカメラ D3500レンズキット
・賞状

先生と一緒に写真を撮る楽しさの大切さ / 藤岡亜弥

このコンテストで審査をするようになってから、高校生のころの自分にとって、担任の先生やクラブの先生の影響が大きかったと、思い出すことがあります。先生の情熱に感化されて写真をがんばったり、先生の写真をお手本に学ぶ生徒は多いのではないかと思います。そんな写真部の先生がどんな写真を撮られるのか、興味津々で拝見しました。高校生と一緒に過ごしている先生ならではのあたたかい視点があったり、私自身高校を覗いているような気分になる楽しい写真も多くありました。先生が写真を楽しんでいるのが伝わる、それがとても大切だと思います。先生方にはこれからはますます卒業をみ出でて、生徒に負けにくい元気に写真でロックンロールしてほしいです!

「夢宙教室」 藪 直隆

帝塚山学院中学校高等学校 (大阪府)

●D5 ●AF-S 14-24mm ●M (1/250秒・f/4)
●ISO400

教室を水槽に見立てて、幻想的な世界を作りあげています。その名も「夢宙教室」。海の中の不思議な世界が宇宙的にも感じられ、夢中と宇宙を掛け合わせたタイトルも秀逸です。「ユラユラと浮き沈みする高校生の気持ちを表現した」と書いてあるように、高校生の小宇宙をうまく表現していますし、ブルーが効いています。撮るだけでなく、イメージを組み合わせる新しい世界を作り上げていて素晴らしい。先生が写真を楽しんでいることが伝わりました。(藤岡)



受賞の言葉をどうぞ!



第26回
TopTeacher賞
藪 直隆 先生

TopTeacher賞に選出いただきありがとうございます。今回の作品は、教室、クラゲ、泡の写真を自分のイメージに沿って組み合わせました。こういう作品づくりは不慣れで試行錯誤を繰り返しましたが、なんとかイメージ通りに完成させることができました。部員ともども、今後も写真表現の可能性を模索していきたいです。

入選

賞品

- ・ニコンオリジナルグッズ
FLX トートバッグ
- ・賞状



「万歳」吉田 允彦

大阪府立生野高等学校

- デジタル一眼レフカメラ ●35-300mm
- Pオート ●ISO800

コントラストの高いモノクロ写真、おびたしい手が異様な雰囲気を出しています。よく見ると、その手の下の顔はみんな沈んだ表情で、いったいこの状況はなんだろうと見入ってしまいました。運動会の退場のときみんなで万歳したときの写真だそうですが、運動会というハレの日をなにより意味深い過去の記憶と交差させるドラマに仕上がっています。(藤岡)

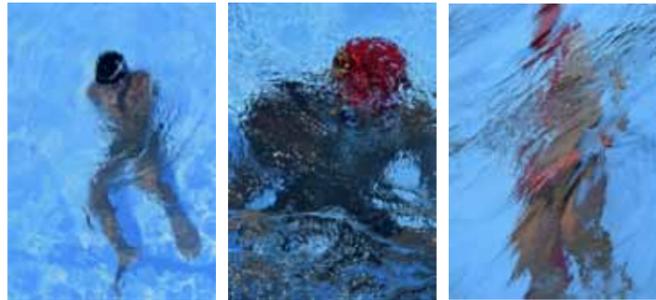


「少しの間」恵納 崇

和歌山県立神島高等学校

- デジタル一眼レフカメラ
- 24-105mm
- Aオート (f/10、f/10、f/10、f/7.1)
- ISO160、100、100、125

「少しの間」というタイトルのこの4枚の組み写真。何度見てもよくわからない、でも一枚一枚の写真がなにより意味深でずっと見てしまう作品。勝手に想像力が膨らむ写真です。少しの間ってなんなの?もしかして、少しの「愛だ」なの?そんなことを空想しながら楽しんだのでした。(藤岡)



「Diver Down」沼 香澄

神奈川県立瀬谷高等学校

- D7500
- AF-S DX16-80mm
- Pオート (3枚とも)
- 露出補正 +0.7EV (3枚とも)
- ISO200、200、250

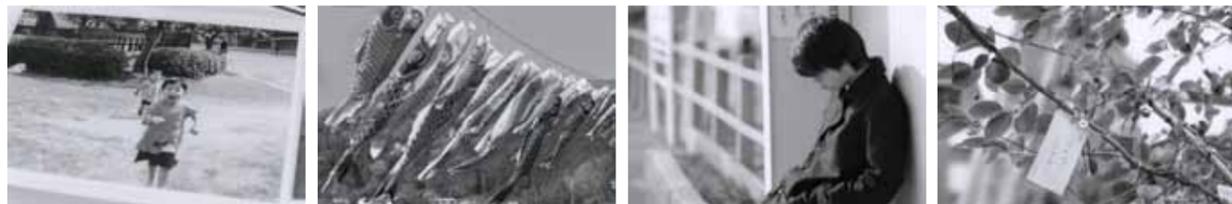
プールの中に潜った人の姿、そして水面。具体的なものを撮影しているが、とても抽象的です。しばらく眺めると、そもそも人間の肉体について考えさせられます。人間と認識できる・できないの「シルエットのあいまい」はどこにあるのか。すべての存在が儚くもあります。(小林)

「アンビバレントな日」井戸 俊博

関市立関商工高等学校(岐阜県)

- デジタルコンパクトカメラ ●Aオート (f/4) ●ISO400

卒業式当日のこと。こんな写真は私は好きです。教壇の向こう、先生にしか撮れないアングルだからです。生徒たちの表情から、彼らとの信頼関係を感じました。きっと生徒から愛されていたのでしょう。それが自然と伝わってきます。父兄の方たちの表情もいいですね。(小林)



「それでも君を」長谷川 みとよ

岐阜県立可児工業高等学校

- デジタル一眼レフカメラ ●1・2・4枚目:18-250mm、3枚目:85mm
- Aオート (f/5、f/6.3、f/1.8、f/5.6) ●ISO3200、100、100、125

ハイキー気味のモノクロ写真。何故か気になり、眼をそらせない作品でした。写真は本来「いま、ここ」しか撮れないはずなのに、遠い過去を強烈に感じさせます。一枚目と三枚目の男の子が同一人物に映るからでしょうか。最後の紙に書かれた言葉も意味深です。(小林)

準佳作

賞状



「初めの一步」豊嶋 弘文
香川県立観音寺第一高等学校



「君との残響」小山 晃俊 香川県立坂出商業高等学校



「変化」山野 健一 栃木県立鹿沼商工高等学校



「ビルと電話ボックス」近藤 文裕 光ヶ丘女子高等学校(愛知県)



「放課後 Dance with me」高橋 朗
埼玉栄中学・高等学校(埼玉県)



「田舎暮らし」反町 文子 群馬県立渋川工業高等学校



「注目」渡辺 裕一
岐阜県立東濃実業高等学校



「Holy night」山口 晴久 大阪府立成城高等学校



「波風のシンフォニー」中野 竜夫 愛知県立知立高等学校



「garden」林 宏行
大阪府立藤井寺高等学校

「先生だけの TopEye フォトコンテスト」は、今回をもって終了いたします。長い間ご応募・ご愛読いただきありがとうございました。

小林紀晴先生 お疲れ様でした

小林紀晴先生が、今号を最後に「TopEye フォトコンテスト」の審査員を卒業されます。最後に、全国の中学生の皆さんにメッセージをいただきました。

写真を通して、とことん思考しよう ————— 小林 紀晴

5年に渡り「TopEye フォトコンテスト」の審査を担当させていただきました。それまでは中学生の写真を見える経験はほとんどなく、初回は少しの戸惑いと、大きな期待をもって審査に臨んだことを思い出します。実際に拝見した作品は多彩で驚きました。真剣に取り組んでいることがヒシヒシと伝わる作品に触れると、こちらも緊張しました。審査では「常識や既成概念にとられない、その年齢でしか撮れない写真」に注目したいと常に思っており、実際にそんな作品に出会うと嬉しくなりました。最後に私から皆さんへ贈る言葉があるとすれば「写真を通して、とことん思考してください」というものです。出来上がった作品はもちろん大切ですが、その過程が実は最も重要な気がしています。写真に限らず、「考え抜くこと」から未来は開かれるからです。5年間、本当にありがとうございました!



ガンバシ 写真部!!

「TopEye全国高校生写真サミット2018」に参加してくれた、沖縄県立知念高等学校。那覇からちょっと離れたのどかな環境で、のびのび写真を楽しんでいます。取材日はなんと、育休明け間近の顧問の先生も駆けつけてくださいました。

沖縄県立知念高等学校



後列：山内くん、仲村くん、照屋くん、島袋くん、仲島くん
石の左右：顧問の比嘉先生、池村先生
前列：堀田さん、川満さん、座波さん、花城さん、山田さん、小谷さん

カメラを渡して「今日から写真部」(笑)

4年前、知念高等学校に赴任された比嘉先生。当時の美術部部長の首にカメラをかけて「今日から写真もやろう!」と言ったことが写真部のスタートだとか。当初は「おとなしい生徒が多いな」と思ったそうですが、「人を撮ってみようか」と言ったらどんどん撮ってくる。コンテストを紹介したらどんどん応募し始める。どうやら、そこにある面白そうなコトを取り込んで前向きなエネルギーに変える「素直力」がスゴイとみた!



昨年度までがんばった卒業生たちも、それぞれの道へ!

部員：20名(三年3名、二年17名)
歴史：2015年度発足、大会出場やコンテスト応募で実績をつけ、わずか3年で「TopEye全国高校生写真サミット2018」出場!
活動：毎週火曜に全体ミーティングの他は個人撮影や撮影会へ。校内行事の撮影係も。
機材：デジタル一眼レフカメラは数台。部員が多いので交替で使います。他にプリンター2台、パソコン1台。
部費：学校の年間予算は約5万。歴史が浅いですが、実績を評価されて予算をいただいています。
部費節約の機材の扱いはなるべく丁寧に…。
ポイント：



学校行事の写真を題材に、撮影アドバイス!

知念高写真部 最近の活躍

- TopEye関連**
★2017年度「TopEyeフォトサロン」第183回入選、第184、185、186回佳作 他
★TopEye全国高校生写真サミット2018 チーム作品：優秀賞
個人作品：秋元貴美子賞、優秀賞
2018年度
★第64回全国展フォトコンテスト 学生の部 優秀賞
★第2回全九州高総文祭写真部門 撮影大会銀賞
★沖縄県高総文祭写真部門 優秀賞
※全国高総文祭に派遣推薦決定!
2017年度
★第39回よみうり写真大賞高校生部門 1席
★第1回全九州高等学校総合文化祭 写真部門 銀賞、銅賞
★第63回全国展フォトコンテスト第4部 銀賞
2016年度
★写真甲子園2016 準優勝
★第3回高校生フォトグランプリ フルース・オズボーン賞
★第38回よみうり写真大賞高校生部門 1席、入選



県の高文連大会にも張り切って参加!



県内のコンテストで



学校近くの町立図書館にも、作品を展示。(2017年)



写真の整理やセレクトは美術科準備室のパソコンで。時々卒業生も来てアドバイスをくれます。

「自問自答」で腕を磨こう!

「活動は生徒の主体性に任せている」(by池村先生)とのことですが、相談を受けたらプロの視点からアドバイス。「彼らが自問自答しながら写真に取り組む様子が頼もしいです。先輩の知識や写真の楽しみ方を、後に続く後輩に受け渡してほしい」池村先生は新年度からご転任とのことですが、この先も知念写真部を見守ってくださいね!

種やかで熱心な池村先生
カメラマン時代の知識と経験を、部に注入!

赤ちゃんとともに駆けつけてくださいました。4月から復帰!!



全校的にノリノリ気質?!

「活動を盛り上げるために何かやっていますか?」部長さんに聞いてみたら、「うーん。そもそも盛り上がってるので…」とうらやましいご回答。聞けば全校的にノリの良い生徒さんが多いようで、カメラを持っていると「撮って撮って!」状態だとか。取材でも、部員さんにちょっとお願いしたらジャンプしてくれたり、某ダンスボーカルグループ的な振りをやってくれたり。素朴に、全身で写真を楽しんでる感じが、すごい!!

車を撮るのが好き。スローシャッターとかバルブ撮影を試してみます。



照屋くん撮影

おっとり&しっかりの二刀流。自分に厳しすぎる面も?!
部長の堀田さん

友達などをモデルに作り込む撮影が好きです。



堀田さん撮影

構図を決めたり、いろんな撮影法を試す時が一番楽しい!



座波さん撮影

TopEyeの写真教室、参考にしています!

のほほんとしながら、面白キャラで部を引っ張る
副部長の川満さん

きれいな景色を「持って帰れる」から写真って最高!!

川満さん撮影



照屋くん撮影

中学でバドミントン部だったので、スポーツを撮るのが好きです。



山内くん撮影

街の夜景とか、サビが出た金属などにひかれます。



島袋くん撮影

古い物やゴミ等にも、撮りたくなるものがありますよね。



高袋くん撮影



仲村くん撮影

数学の難しい問題を解く時のように、写真のプロセスを楽しみます。

ふんわり + まっすぐ ニコニコ可也!

猫派です。特に気の抜けた時の顔が大好き。

花城さん撮影

沖縄だから、ロケ地いっぱい!

那覇市街(国際通りなど)、首里城、中城城、読谷村、学校近くの海岸...etc.



学校近所の写真館のスタジオを借りてもらって作品づくりも!



第185回佳作「魂胆」



第184回佳作「耽美」

カメラの音が好き。友達と撮る時の「空気感」を表現したい。

ニコンのカメラ、画質がよくて感動!!

小谷さん撮影

生き物を撮るのが好き。カタツムリのぬめりがかわいいです。

山田さん撮影

うま市の製糖工場

糸満市の琉球ガラス村

撮影大会、写真展、コンテストと盛んな活動

沖縄県高文連写真専門部では現在28校の写真部が活動しており、県高文連写真専門部撮影大会、沖縄県高等学校総合文化祭写真展、沖縄県高等学校写真コンテストの3つの活動を行っています。写真展では500点以上の作品から選抜された150点を展示、多くの生徒の作品を鑑賞し審査員による講評を聞くことで、作品制作へのよい刺激になっています。この他にも県内の高校生を対象とした公募展も多く、各校とも意欲的に取り組んでいます。



「ガンバシ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!!
編集部が学校に行って取材します。
ご応募は、メールで編集部まで topeye@nikon.com

TopEye ★「ありがち」写真から一步踏みだす!

「フォトスター」

いつもの被写体でグッと魅力的な写真が撮れるちょっとした工夫を、毎回ご紹介!



サッチャン 斎藤先生 アイタクくん

今月のテーマは...

動物を表情豊かに撮る

いろんな被写体に出会って、春の撮影会の定番でもある動物園。ちょっとした工夫で、動物をイキイキ撮れるよ!

今回の作例



【撮影データ】
●使用カメラ:Nikon D7500 ●使用レンズ:70-300mm(焦点距離:300mm)
●ISOオート(400) ●露出モード:絞り優先オート(1/200秒, f/7.1)
●ホワイトバランス:晴天 ●ピクチャーコントロール:スタンダード
●フォーカスモード:AF-C

撮影意図

母親と寄り添うオランウータンの子を撮影。「表情」に狙いを定め、一瞬こちらに視線が来るところをバシヤリ。人間の子供みたいに純真無垢な目が印象的な写真になった。



ありがちな撮り方

母親の顔は見えないし、子どもよそを見ているので、目を引くポイントをうまくつけれなかった。



今回は望遠レンズを使用!



AF-P DX NIKKOR 70-300mm f/4.5-6.3G ED VR

動物には近づけないことが多いので、望遠レンズがおすすめ。金網越しに撮る時、金網に思い切り近づいて望遠にすると「金網が写らない」というワザも使える!

バックナンバーをCHECK

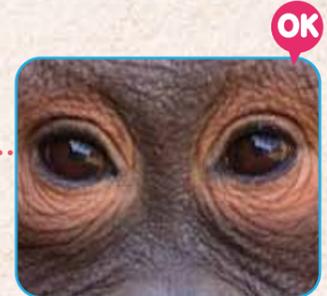
2018年4月号の「TopEyeデジタル写真教室」に解説があります。

演出のコツ

POINT 1

表情を捉えたいなら、ピントは「目」に!

動物でも人間でも、撮影の基本は「目にピントを合わせる」。目はなんといっても表情が最も表れる部分だから、しっかり捉えよう。

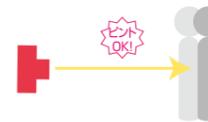


作例はこの通り、目にピントがばっちり合えば、微妙な表情も伝わる。



目にピントが合わないと表情がぼやけてしまう。しかも半つぶりになってしまった。

こんな時の便利機能



「AF-C」モード
AF(オートフォーカス)の「AF-C」モードは、被写体との距離が変わってもずっとピントを合わせ続ける機能。今回みたいに動き回る動物を撮る場合に便利だよ。

バックナンバーをCHECK

2017年10月号、12月号などの「TopEye デジタル写真教室」に解説があります。

目がしっかり撮れると、生き物の写真は全然違ってくるね!



設定の基本

POINT 2

「ISO感度自動制御」で安定した露出を!

動物園は日なたも日陰も多く、動き回る動物の場合は露出の調節も難しい。そこで「ISO感度自動制御」機能を使い、光の具合でISO感度を自動的に変える設定がおすすめ。

バックナンバーをCHECK

2018年12月号などの「TopEyeデジタル写真教室」に解説があります。

【設定の目安】天気の良い屋外なら



ISO感度: 200

制御上限感度: 400~800

構図のヒント

POINT 3

自由の中にちょっと工夫を

構図はアイデアの見せ所だけど、迷う人はとりあえず下記のヒントを参考にしてみよう。

ヒント 1



視線の方向に空間をつくる

被写体が正面向きでない場合、目が向いている方向を少し広くあける。すると「何を見てるんだろう?」と想像させる写真になるよ。

ヒント 2



顔のアップは「中心」から少しずらす

顔のアップを撮るとき、画面の中心より少しずらすことで、お洒落でセンスの良さを感じる構図になるよ。

ヒント 3



縦位置にして背景を整理

周囲にいるいろいろあって煩雑なら、縦位置で撮ることで背景が整理され、被写体を強調することができるよ。

さらに...

試してみよう! いろんなシーン

動物の子供も人間の子供みたいに遊びが大好きで、面白い動きやポーズをたくさんしてくれる。撮り慣れてきたら、いろんなシーンに挑戦!



意外とお行儀よく座ったり...



地面に転がったり...



2頭のからみも面白い!

動物園で撮影する時は...

▲ 注意!!

- ◎フラッシュは使わない
動物は強い光に反応して興奮したり暴れたりすることがある。動物園に入る前に、フラッシュが発光しないようセット!
- ◎周りの人たちに配慮しよう
大勢の人が来るので、場所取りしたり同じ場所に長時間いるのはマナー違反。撮影したら速やかに、周りの人に場所を譲ってね。
- ◎柵の中に絶対入らない!
安全柵は、「これ以上近づくと危ない!」しるし。絶対に中には入らないでね!

次回は、夏を前に「花火」の撮影を取り上げる予定!



講師/斎藤 勝則

元気な先輩に出会いたい!

TopEye OB/OG訪問!

TopEye
フォトコンテスト
入賞者の
「その後」を
インタビュー!



SENPAI-
file.20

新潟県立六日町高等学校OG
羽鳥 優妃さん

「教室の花子さん」で第168回TopEye賞
「16代目のお披露目」で第169回準TopEye賞 他



「教室の花子さん」



「16代目のお披露目」

写真部の撮影会を通して様々な景色や人と出会ったという羽鳥さん。昨年ご結婚され、9月の出産を待つ中で、「家族に幸せな記憶をたくさん残したい」と語ってくれました!

自分では絶対行かない場所に たくさん行けた写真部の活動

写真部に入って楽しかったのは、撮影会でいろんな所に行けたことです。私の住む新潟県や隣の長野県は、風光明媚な場所が多いんです。自分だけでは絶対に行けないような所に行って、たくさんの新しい景色や人と出会えたのがとても楽しかった。中でも学校の近くにあって素敵な旅館がお気に入り。度々訪ねて女将さんにモデルをお願いしたりしていました。

受賞のたびに強まった感謝と努力の気持ち

私は主に人物を撮っており、TopEye賞やその他のいくつかいただいた賞も、多くがポートレート作品でした。賞をいただいたときに、周りの方が快く撮らせてくださることに感謝する気持ちが高まり、彼らに喜んでいただけるよう頑張ろう!と思ったのを覚えています。受賞の報告をしたり、記念に写真を差し上げたことも大切な思い出です。

結婚式で、部活仲間に撮影を依頼

昨年の結婚式では、お客さんのテーブルを巡って一緒に写真を撮る「フォトラウンド」を行いました。撮影は部活時代の友達や顧問の先生に頼んだので、アットホームな雰囲気の中あったかい写真が撮れ、ひとさき幸せな思い出ができました。これから友達との結婚式も増えるので、きれいに撮ってあげなさいと思っています。最近では「作品」を撮るといふより、日々の暮らしや食事の写真を撮って楽しむことが多いですね。夫も私を撮ってくれることがあるので、教えてあげたりもします(笑)。9月に出産予定なのですが、子供を可愛く、たくさん撮れる機材と腕があるのはとても嬉しく、「早く撮りたい!」と楽しみにしています。



写真部の仲間に撮ってもらいました!

「学校写真部」の利点を活かしてね!

進学して一人暮らしになったり社会人になったりすると、どうしても日々の生活に追われる部分が出てきます。高校生の今って、写真に全力で集中できる貴重な時間かも知れませんので、いろいろなチャレンジをくださいね。ポートレートが好きなのも、高校時代はチャンス。「中学・高校の写真部」というのは見知らぬ人に撮影の許可をもらうには無敵の肩書きです。たくさんの人に声をかけて、撮らせてもらっちゃいましょう!



日々の暮らしを切り取って思い出に。



Information

第67回ニッコールフォトコンテスト 第4部『TopEye&Kids』部門

18歳以下限定! 作品募集開始!

今年も募集が始まりました!
「TopEye フォトコンテスト」ともども、こちらのコンテストもよろしくね!

応募資格 18歳以下の方
(2019年7月末現在)

大賞賞品 10万円相当の写真撮影奨励賞

●使用機材自由 ●テーマ自由
●応募点数制限なし

応募締切 7月9日(火)必着

今号には
応募票付の
チラシ同封!!

第66回「TopEye&Kids」部門 ニッコール大賞 「まつ毛長くなりたい系女子」
高松 志帆さん (山口県立下松高等学校)



2018年度 TopEye フォトコンテストの
「TopEye 賞」作品も
ノミネートされます!



顧問の先生へ

TopEye誌面アンケートにご協力ください!

誌面の充実のため、配布校の皆様のご意見をうかがうアンケートを実施いたします。同封の回答用紙にご記入のうえ、編集部までFAXにてお送りください。

今回のご回答期限

5月23日までに
FAXで
お送りください。

FAX:03-5148-0566

今回ご協力いただいた学校には、「TopEye」がファイルできる「オリジナルバインダー」を進呈いたします。